

VS-KB21/ VS-KB21N

キーボードコントローラー

ユーザーマニュアル-日本語



クイックスタートガイド、多言語ユーザーマニュアル、ソフトウェア、ドライバーなどの最新版をダウンロードするには、Lumens ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.MyLumens.com/support>

目次

Chapter.1	はじめに	3
1.1	製品の特長	3
Chapter.2	製品概要	4
2.1	背面パネルと各ポートの機能	4
2.2	前面パネルとジョイスティックの機能	5
2.3	LCD スクリーンの表示内容	6
Chapter.3	LCD メニュー	7
3.1	LCD メニューへのアクセス	7
3.2	Hot Key Camera(カメラショートカットキー)	7
3.3	Hot Key Camera(カメラショートカットキー)の詳細設定	7
3.4	Device Management(デバイス管理).....	8
3.5	Network(ネットワーク設定).....	8
3.6	KEYS(キー設定).....	8
3.7	Display(表示設定)	9
3.8	Beep (ビープ音設定)	9
3.9	Joystick(ジョイスティック設定)	9
3.10	Tally(タリーランプ設定).....	9
3.11	Language(言語設定)	9
3.12	Password Settings(パスワード設定)	9
3.13	Sleep Mode(スリープモード設定)	10
3.14	About Device (デバイス情報)	10
3.15	Reset Device(デバイスリセット).....	10
Chapter.4	カメラ接続	11
4.1	各ポートのピン配列	11
4.2	RS-232 の接続方法	12
4.2.1	ケーブルの接続.....	12
4.2.2	カメラ側の設定.....	12
4.2.3	コントローラー側の設定.....	12
4.3	RS-422 の接続方法	13
4.3.1	ケーブルの接続.....	13
4.3.2	カメラ側の設定.....	13
4.3.3	コントローラー側の設定.....	13
4.4	IP 接続の方法.....	14
4.4.1	ケーブルの接続.....	14
4.4.2	コントローラーの IP アドレス設定.....	14
4.4.3	カメラの追加.....	14
Chapter.5	Web インターフェース.....	16

5.1	ネットワークへの接続	16
5.2	Web インターフェースへのログイン	16
5.3	Web ページの機能概要	17
5.3.1	ログインページ.....	17
5.3.2	Hot Key (ショートカットキー)	18
5.3.3	プロトコルごとの設定項目.....	18
5.3.4	Device Management (デバイス管理)	22
5.3.5	Custom Command (カスタムコマンド)	22
5.3.6	Network (ネットワーク設定)	23
5.3.7	Firmware Update (ファームウェアアップデート)	23
5.3.8	System - Configuration File (設定ファイル)	24
5.3.9	System - User Management (ユーザー管理)	24
5.3.10	About (製品情報)	25
Chapter.6	基本的操作	26
6.1	カメラの呼び出し	26
6.1.1	数字キーボードを使用してのカメラの呼び出し方法.....	26
6.2	プリセットポジションの設定/呼び出し/解除.....	27
6.2.1	プリセットポジションの保存方法.....	27
6.2.2	プリセットポジションの呼び出し方法.....	27
6.3	コントローラーからカメラの OSD メニューを設定する.....	28
Chapter.7	応用機能：OIP デコーダーとの連携.....	29
7.1	機能概要	29
7.2	接続と設定	29
7.2.1	機器の接続.....	29
7.2.2	OIP-N60D デコーダーの設定	29
7.2.3	VS-KB21 コントローラーの設定	30
7.2.4	OIP Manual Trigger.....	31
Chapter.8	トラブルシューティング	32
Chapter.9	安全上のご注意	33
Chapter.10	Copyright Information	34

Chapter.1 はじめに

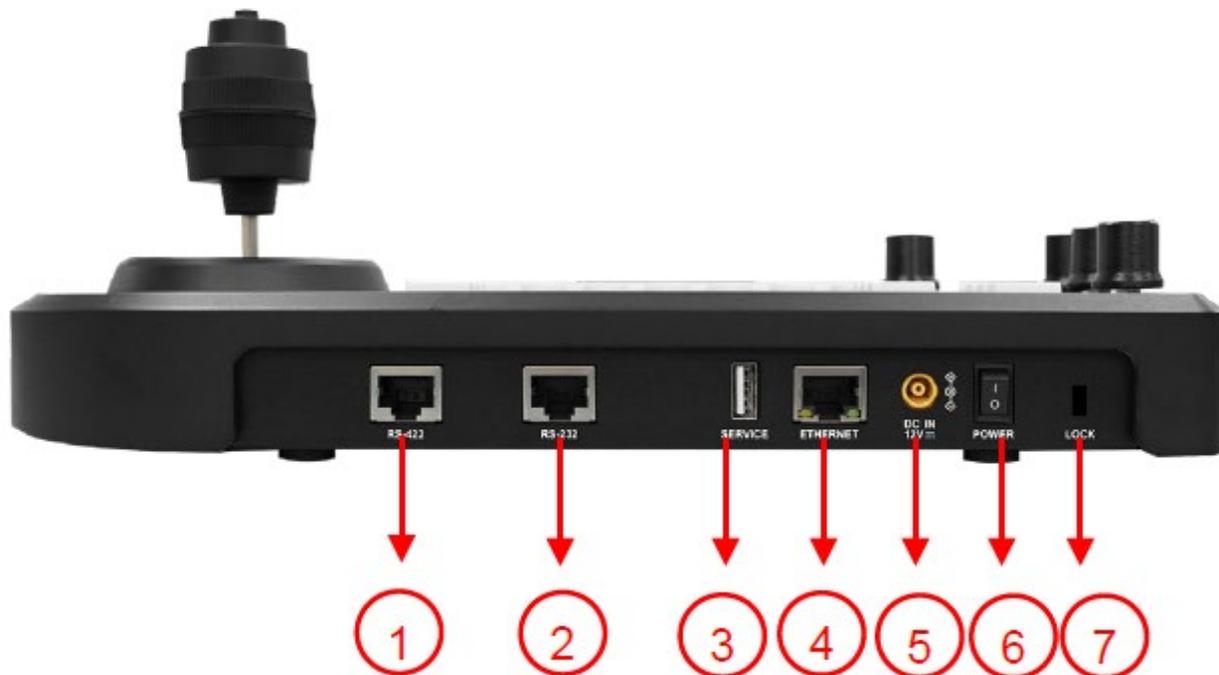
この度は、Lumens VS-KB21 IP カメラコントローラーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書では、VS-KB21 の各機能と操作方法について詳しく解説します。ご使用前に本書をよくお読みいただき、製品を最大限にご活用ください。

1.1 製品の特長

- ✓ 簡単な IP カメラコントロール
ネットワーク上の VISCA over IP および ONVIF に対応した PTZ カメラを自動検出し、IP アドレスを入力することなく簡単にカメラの制御を開始できます。
- ✓ ジョイスティックによる直感的な操作
上下左右のパン・チルト操作に加え、ズームイン・ズームアウト、さらにはフォーカス調整まで、すべての操作をジョイスティック一つで直感的に行うことができます。
- ✓ 最大 255 台のカメラを制御
IP（ネットワーク）接続とシリアル接続（RS-232/RS-422）の両方に対応しており、最大 255 台のカメラを 1 台のコントローラーで集中管理することが可能です。
- ✓ PoE および DC 電源に対応
PoE（Power over Ethernet）に対応したネットワークスイッチに接続することで、LAN ケーブル 1 本で電源供給と通信が可能です。もちろん、付属の AC アダプターによる電源供給にも対応しています。

Chapter.2 製品概要

2.1 背面パネルと各ポートの機能

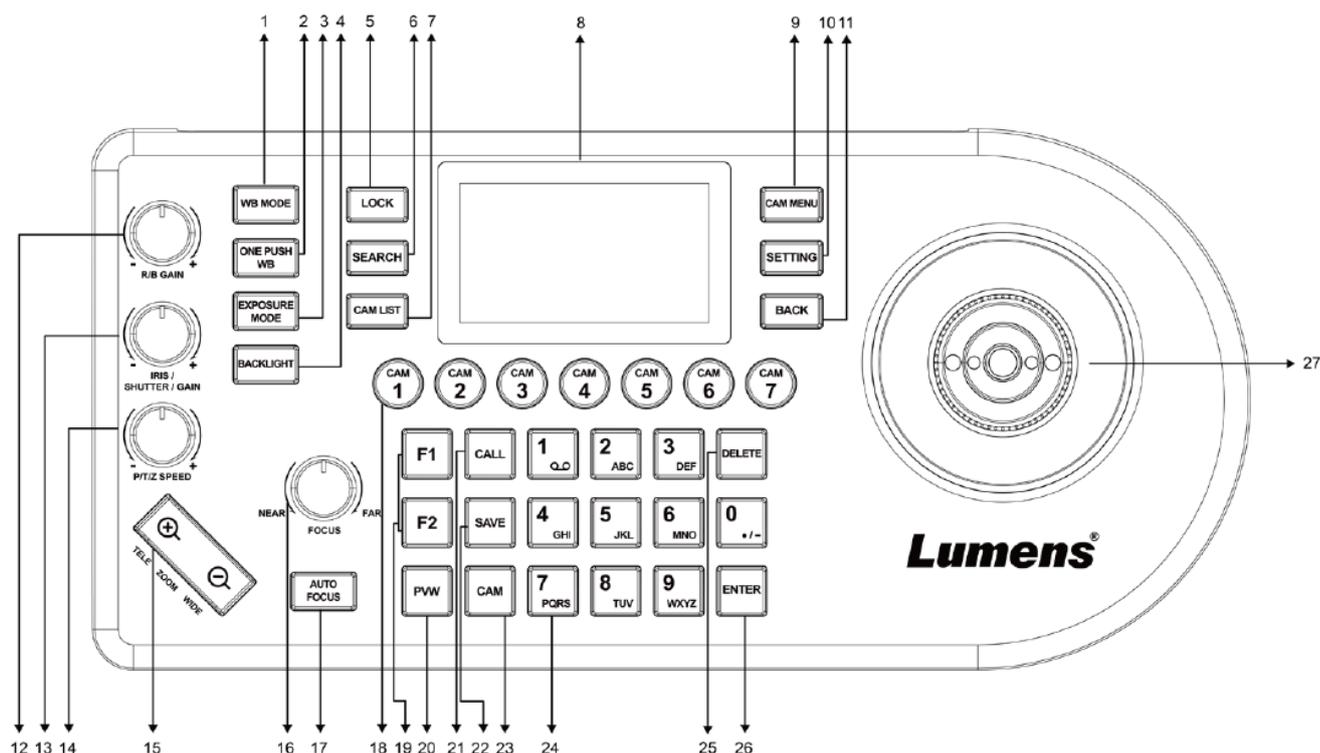


NO.	項目	機能概要
1	RS-422 ポート	RS-422 接続でカメラを制御するためのポートです。最大7台のカメラを制御できます。 ※RS-232 ポートと同時に使用することはできません。
2	RS-232 ポート	RS-232 接続でカメラを制御するためのポートです。最大7台のカメラを制御できます。 ※RS-422 ポートと同時に使用することはできません。
3	USB サービスポート	USB メモリを接続し、コントローラーのファームウェアアップデートを行います。 ※USB メモリは「FAT32」形式でフォーマットし、容量が 32GB 未満のものを使用してください。
4	ETHERNET ポート	RJ-45 ネットワークケーブルを接続します。PoE (IEEE802.3af) による電源供給に対応しています。
5	DC IN 12V	付属の AC アダプターを接続する電源入力ポートです。
6	電源ボタン	コントローラーの電源をオン/オフします。
7	セキュリティー slots	盗難防止用のワイヤーなどを接続するためのスロットです (ケンジントンロック対応)。

【重要事項】

- ✓ RS-232 および RS-422 ポートは PoE に対応していません。PoE スイッチには接続しないでください。
- ✓ RS-232 と RS-422 は同時に使用できません。どちらか一方のケーブルのみを接続してください。両方を接続すると、カメラのショートカットキー設定が正しく動作しません。

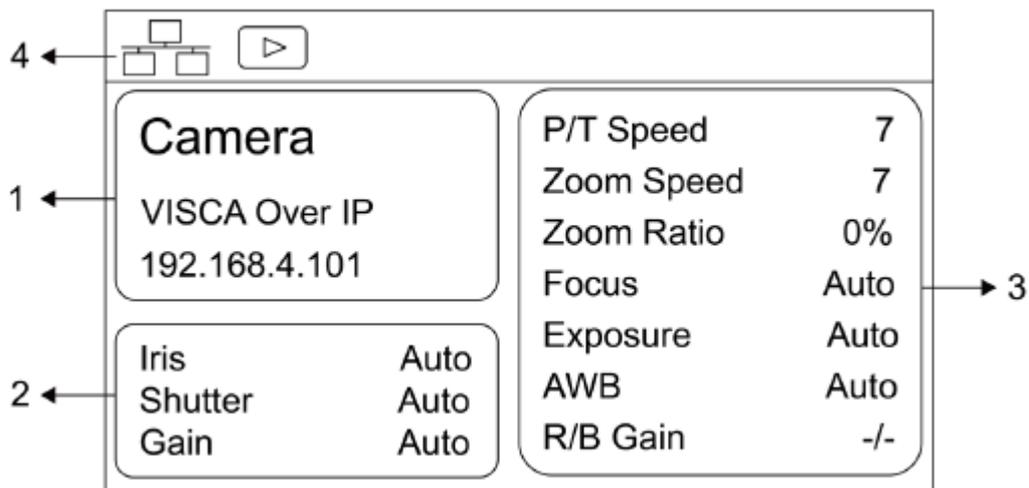
2.2 前面パネルとジョイスティックの機能



NO.	項目	機能概要
1	WB (ホワイトバランス)	ホワイトバランスのモードをオートまたはマニュアルに切り替えます。オートに設定すると、AUTO インジケーターが点灯します。
2	ONE PUSH WB	ホワイトバランスモードが「One Push」の時に、このボタンを押すことで、白い被写体を基準に最適なホワイトバランスを一度だけ自動調整します。
3	EXPOSURE (露出)	露出モードを「オート」「絞り優先」「シャッター優先」の中から切り替えます。
4	BACKLIGHT (逆光補正)	逆光補正機能のオン/オフを切り替えます。被写体の背後が明るい場合に、被写体が暗く映るのを防ぎます。
5	LOCK (ロック)	すべての画質調整ボタンとダイヤルの操作をロックし、誤操作を防ぎます。3秒間の長押しでロックが有効になり、再度3秒間長押しすると解除されます。
6	SEARCH (カメラ検索)	ネットワーク上にあるカメラの検索や、IPアドレスの手動追加を行います。
7	CAM LIST (カメラリスト)	現在コントローラーに接続・登録されているカメラの一覧を表示します。
8	LCD スクリーン	コントローラーの操作情報や各種設定メニューを表示します。
9	CAM MENU (カメラメニュー)	選択中のカメラのOSDメニューを呼び出し、ディスプレイに表示させます。
10	SETTING (設定)	コントローラー本体の設定メニューをLCDスクリーンに表示します。
11	BACK (戻る)	メニュー操作中に、一つ前の階層に戻ります。
12	R/B GAIN (赤/青ゲイン)	ホワイトバランスモードが「マニュアル」の時に、ダイヤルを回して赤と青の強さを個別に調整します。
13	IRIS / SHUTTER (絞り/シャッター)	露出モードに応じて、ダイヤルを回して絞り (IRIS) またはシャッター速度 (SHUTTER) の値を調整します。
14	P/T/Z SPEED (PTZ 速度)	ダイヤルを回して、パン・チルト・ズームの動作速度を調整します。ダイヤルを押すことで、パン・チルト速度とズーム速度のどちらを調整するか切り替えができます。
15	ズームシーソー	カメラのズームイン・ズームアウトを操作します。
16	フォーカスコントロール	複数の機能を持つダイヤルです。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ ダイヤルを回す: マニュアルフォーカス時にピントを調整します。 ✓ ダイヤルを押す: オートフォーカスが一時的に作動し、素早くピントを合わせます (ワンプッシュフォーカス)。 ✓ LCDメニュー操作時: ダイヤルを回して項目の選択、押して決定を行います。

NO.	項目	機能概要
17	AUTO FOCUS (オートフォーカス)	フォーカスモードをオートまたはマニュアルに切り替えます。オートに設定すると、AUTO インジケーターが点灯します。
18	カメラショートカット [CAM1]~[CAM7]	よく使うカメラを7台まで登録し、ボタン一つで素早く選択・操作できます。3秒間の長押しで、ショートカットキーの設定画面に入ります。
19	アサインボタン [F1]~[F2]	任意の機能を割り当てて、操作を効率化できるショートカットキーです。
20	PVW (プレビュー)	選択中のカメラの RTSP ストリーミング映像を、対応するモニターに表示させます。
21	CALL (プリセット呼出)	このボタンを押した後、数字ボタン (0~9) を押すことで、登録済みのプリセットポジションを呼び出します。
22	SAVE (プリセット登録)	このボタンを押した後、数字ボタン (0~9) を押すことで、現在のカメラ位置をプリセットとして登録します。
23	CAM (カメラ選択)	このボタンを押した後、数字ボタンで操作したいカメラの ID (1~255) を入力し、選択します。
24	数字・文字キーボード	プリセットの呼び出し、カメラ ID の選択、LCD メニューでの文字入力などに使用します。
25	DELETE (削除)	LCD メニューの操作中に、項目を削除する際に使用します。
26	ENTER (決定)	LCD メニューの操作中に、項目を決定する際に使用します。
27	PTZ ジョイスティック	カメラのパン (左右)、チルト (上下)、ズーム (回転) を直感的に操作します。

2.3 LCD スクリーンの表示内容



NO.	項目	機能概要
1	カメラ ID とプロトコル	現在操作しているカメラの ID と、使用している制御プロトコルを表示します。
2	露出モード	現在のカメラの露出モードを表示します。
3	接続機器のパラメータ情報	選択中のカメラに関するパラメータ情報 (絞り、シャッター速度など) を表示します。
4	ネットワーク接続状態	再生アイコンが表示されている場合、そのカメラの RTSP ストリーミング映像をプレビュー表示できる状態であることを示します。

Chapter.3 LCD メニュー

3.1 LCD メニューへのアクセス

コントローラーの [SETTING] ボタンを押すと、LCD メニューにアクセスできます。

3.2 Hot Key Camera(カメラショートカットキー)

項目	設定値	機能概要
CAM	1-7	設定を行うカメラショートカットキー（[CAM1]～[CAM7]）を選択し、設定を行います。設定可能な項目は 3.3 Hot Key Cameraの詳細設定 を参照してください。

3.3 Hot Key Camera(カメラショートカットキー)の詳細設定

ここでは、選択したカメラショートカットキーに割り当てるカメラの接続情報や、連携機能に関する詳細な設定を行います。 ※選択するプロトコルによって、設定可能な項目が異なります。

項目	設定値	機能概要
Alias	(任意)	キーボードでカメラの名前（エイリアス）を入力できます。カメラリストなどで表示され、識別しやすくなります。
Protocol	VISCA / VISCA over IP / VISCA TCP / ONVIF / NDI	カメラの制御に使用するプロトコルを選択します。 ※NDI は VS-KB21N モデルのみ対応です。
Address (VISCA)	1~7	VISCA プロトコル使用時のカメラ ID (アドレス) を設定します。
Baudrate (VISCA)	9600 / 19200 / 38400 / 115200	VISCA プロトコル使用時のボーレート (通信速度) を設定します。
IP Address (VISCA over IP / VISCA TCP)	(IP アドレス)	VISCA over IP または VISCA(TCP) プロトコル使用時のカメラの IP アドレスを入力します。入力には数字キーと DELETE キーを使用します。
Port (VISCA TCP)	1~65534	VISCA(TCP) プロトコル使用時のポート番号を設定します。
Onvif Account (Onvif)	Off/On	ONVIF プロトコル使用時のアカウント認証を有効にするか設定します。有効にすると、プレビュー (PVW) 機能が利用できます。
Stream URL	(URL)	プレビュー (PVW) 機能で使用するカメラの RTSP ストリーム URL です。多くの場合、追加したカメラのモデルに応じて自動でインポートされます。
RTSP Authentication	Off/On	RTSP ストリームの視聴に認証を要求するか設定します。
User Name	(任意)	RTSP 認証のユーザー名を設定します。
Password	(任意 ****で表示されます)	RTSP 認証のパスワードを設定します。
Reset Camera Address (VISCA)	-	カメラのアドレスをリセットします。
OIP Link Mode	Off/On	OIP デバイスとの連携機能 (OIP Link) を有効にするか設定します。
OIP Manual Trigger	Off/On	OIP Link を手動でトリガー (実行) するか設定します。
OIP Qty.	1~7	OIP Link で連携する OIP デバイスの数量を選択します。
OIP Address	(IP アドレス)	連携する OIP デバイスの IP アドレスを入力します。
Source ID	-	連携する OIP デバイスのソース ID を選択します。
Select from List	-	カメラリスト (CAM LIST) から特定のカメラを選択し、その設定を自動的に適用します。

3.4 Device Management(デバイス管理)

項目	設定値	機能概要
Device List	-	現在コントローラーに登録されているデバイスの一覧を表示します。各カメラを選択することで、カメラショートカットキーの詳細設定画面へ移行します。
Add a New List	-	選択することで、カメラショートカットキーの詳細設定画面へ移行し、新しいデバイスを手動でリストに追加します。
Ignored Device List	-	検索時に表示しないように設定された「無視リスト」にあるデバイスの一覧を表示します。デバイスを選択することで、設定の変更や削除を行うことができます。
Add an Ignored Device	-	指定したデバイスを「無視リスト」に追加します。追加するにはプロトコルと IP アドレスを指定する必要があります。

3.5 Network(ネットワーク設定)

項目	設定値	機能概要
DHCP	Off/On	IP アドレスの設定方法を選択します。On にすると、IP アドレスを自動で取得します。
IP Address	(任意)	IP アドレスを手動で設定する場合に、この欄に入力します。入力には数字キーと DELETE キーを使用します。
Subnet Mask	(任意)	IP アドレスを手動で設定する場合に、サブネットマスクをこの欄に入力します。入力には数字キーと DELETE キーを使用します。
Gateway	(任意)	IP アドレスを手動で設定する場合に、ゲートウェイをこの欄に入力します。入力には数字キーと DELETE キーを使用します。
DNS 1	(任意)	優先 DNS サーバーの IP アドレスを設定します。入力には数字キーと DELETE キーを使用します。
DNS 2	(任意)	代替 DNS サーバーの IP アドレスを設定します。入力には数字キーと DELETE キーを使用します。

3.6 KEYS(キー設定)

[F1]キーと[F2]キーに、よく使う機能を割り当ててショートカットキーとして利用できます。割り当てたい機能を選択すると、カメラはボタンを押すだけですぐに指定された動作を実行します。

項目	設定値	機能概要
[F1] / [F2]	Function	<ul style="list-style-type: none"> ✓ None: 何も割り当てません。 ✓ Home: カメラをホームポジション (正面) に戻します。 ✓ Power: カメラの電源をオン/オフします。 ✓ Mute: カメラのマイクをミュート (消音) します。 ✓ Picture Freeze: 映像を一時停止 (フリーズ) します。 ✓ Pan/Tilt Reset: パン・チルトの位置をリセットします。 ✓ Picture Flip: 映像を上下反転させます。 ✓ Picture LR_Reverse: 映像を左右反転させます。 ✓ Tracking Mode: トラッキングモードを切り替えます。 ✓ Framing Mode: フレーミングモードを切り替えます。 ✓ Auto Tracking On: 自動追尾 (Auto Tracking) を開始します。 ✓ Auto Tracking Off: 自動追尾 (Auto Tracking) を停止します。 ✓ Auto Framing On: オートフレーミングを開始します。 ✓ Auto Framing Off: オートフレーミングを停止します。 ✓ OIP Trigger: OIP Link のトリガー (実行) を手動で行います。 ✓ CustomCommands: カスタムコマンドを割り当てます。コマンドは本項目で指定するほか、Web インターフェースでも指定ができます。

3.7 Display(表示設定)

項目	設定値	機能概要
Theme Color (テーマカラー)	Red / Green / Blue / Orange / Purple	LCD スクリーンの表示テーマカラーを調整します。(赤/緑/青/オレンジ/紫から選択)
Brightness (LCD 輝度)	Low / Medium / High	LCD スクリーンの明るさを 3 段階 (低/中/高) で調整します。
Key Brightness (キー輝度)	Low / Medium / High	ボタンのバックライトの明るさを 3 段階 (低/中/高) で調整します。

3.8 Beep (ビーブ音設定)

項目	設定値	機能概要
Enable (有効化)	Off/On	ボタン操作時のビーブ音 (効果音) をオンまたはオフに設定します。
Style (音色)	Style 1 / Style 2 / Style 3	ビーブ音の音色を 3 種類の中から選択します。

3.9 Joystick(ジョイスティック設定)

項目	設定値	機能概要
Zoom Enable (ズーム有効化)	Off/On	ジョイスティックを回転させてズーム操作を行う機能をオンまたはオフに設定します。
Pan Reverse (パン反転)	Off/On	ジョイスティックの水平 (左右) 操作と、カメラのパン動作の方向を反転させるか設定します。
Tilt Reverse (チルト反転)	Off/On	ジョイスティックの垂直 (上下) 操作と、カメラのチルト動作の方向を反転させるか設定します。
Correction (補正)	-	ジョイスティックのキャリブレーション (校正) を行い、動作の基準点を補正します。画面の指示に従ってキャリブレーションを行います。

3.10 Tally(タリーランプ設定)

項目	設定値	機能概要
Enable (有効化)	Off/On	タリーランプ機能をオンまたはオフに設定します。オンにすると、カメラを選択したときにタリーランプを点灯させます。

3.11 Language(言語設定)

項目	設定値	機能概要
Language	English / 簡体字中国語 / 繁体字中国語	LCD スクリーンに表示される言語を設定します。

3.12 Password Settings(パスワード設定)

項目	設定値	機能概要
Enable (有効化)	Off/On	オンにすると、次回からコントローラーの[SETTINGS]メニューに入る際にパスワードの入力が必要になります。
Change Password (パスワード変更)	-	設定メニューに入るための新しいパスワードを設定します。

3.13 Sleep Mode(スリープモード設定)

項目	設定値	機能概要
Enable (有効化)	Off/On	スリープモードをオンまたはオフに設定します。
Goes to Sleep after (スリープタイマー)	15 Mins / 30 Mins / 60 Mins	操作がない状態が続いた後、スリープモードに移行するまでの時間を 15 分、30 分、60 分から選択します。
LCD Screen Light (LCD 輝度)	Low / Midium / High	スリープモード中の LCD スクリーンの明るさを設定します。
Keypad Backlight (キー輝度)	Low / Midium / High	スリープモード中のボタンのバックライトの明るさを設定します。

3.14 About Device (デバイス情報)

項目	機能概要
IP Address (IP アドレス)	コントローラーの現在の IP アドレスを表示します。
MAC Address (MAC アドレス)	コントローラーの MAC アドレスを表示します。
Serial Number (シリアル番号)	コントローラーのシリアル番号を表示します。
Firmware Version (ファームウェアバージョン)	現在のファームウェアのバージョンを表示します。
USB Flash Drive (USB ドライブ)	接続された USB メモリを使用して、コントローラーのファームウェアアップデートを実行します。 【ファームウェアアップデートの注意点】 アップデートを行うには、あらかじめ USB メモリ内に「FW」という名前のフォルダを作成し、そのフォルダにファームウェアファイル(拡張子. up)を入れておく必要があります。

3.15 Reset Device(デバイスリセット)

項目	機能概要
Reset Setting (設定リセット)	ネットワーク設定とカメラリスト (CAM LIST) 以外の設定を工場出荷時の状態に戻します。
Reset Setting and Data (全データリセット)	IP 設定を含む、コントローラーのすべての設定を消去し、工場出荷時の状態に戻します。

Chapter.4 カメラ接続

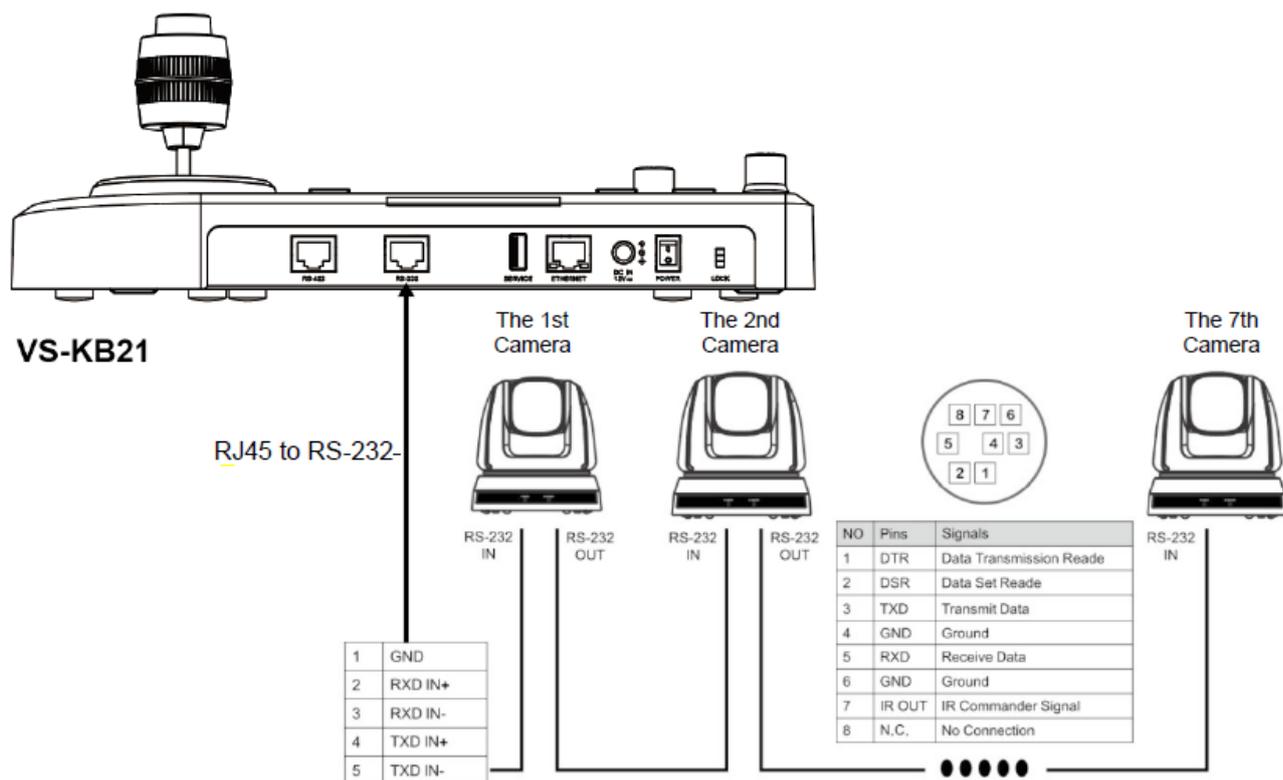
VS-KB21 は、シリアル接続 (RS-232, RS-422) と IP (ネットワーク) 接続の両方に対応しています。サポートしている主な制御プロトコルは、VISCA、VISCA over IP、および ONVIF です。

4.1 各ポートのピン配列

各ポートのピン配列については以下の図を参照してください。

RS-232			IP			RS-422		
1 8			1 8			1 8		
								
Pin No.	Function	Color	Pin No.	Function	Color	Pin No.	Function	Color
1	-	Orange/White	1	TX+	Orange/White	1	TX-	Orange/White
2	-	Orange	2	TX-	Orange	2	TX+	Orange
3	GND	Green/White	3	RX+	Green/White	3	GND	Green/White
4	-	Blue	4	n/c	Blue	4	-	Blue
5	-	Blue/White	5	n/c	Blue/White	5	-	Blue/White
6	GND	Green	6	RX-	Green	6	-	Green
7	TXD	Brown/White	7	n/c	Brown/White	7	RX-	Brown/White
8	RXD	Brown	8	n/c	Brown	8	RX+	Brown

4.2 RS-232 の接続方法



4.2.1 ケーブルの接続

コントローラーの RS-232 ポートと、カメラの RS-232 ポートを接続します。市販のケーブルを使用する場合は、[4.1 各ポートのピン配列](#)、および上記の図を参照して、正しくケーブルを接続してください。

4.2.2 カメラ側の設定

カメラ本体の OSD メニューまたは Web 設定画面で、以下の設定を行ってください。詳細はカメラのマニュアルを参照してください。

- ✓ Protocol (プロトコル) : VISCA
- ✓ Control Port (制御ポート) : RS-232

4.2.3 コントローラー側の設定

コントローラーの LCD メニューで、以下の設定を行ってください。

[SETTING] ボタンを押し、[Hot Key Camera] を選択します。

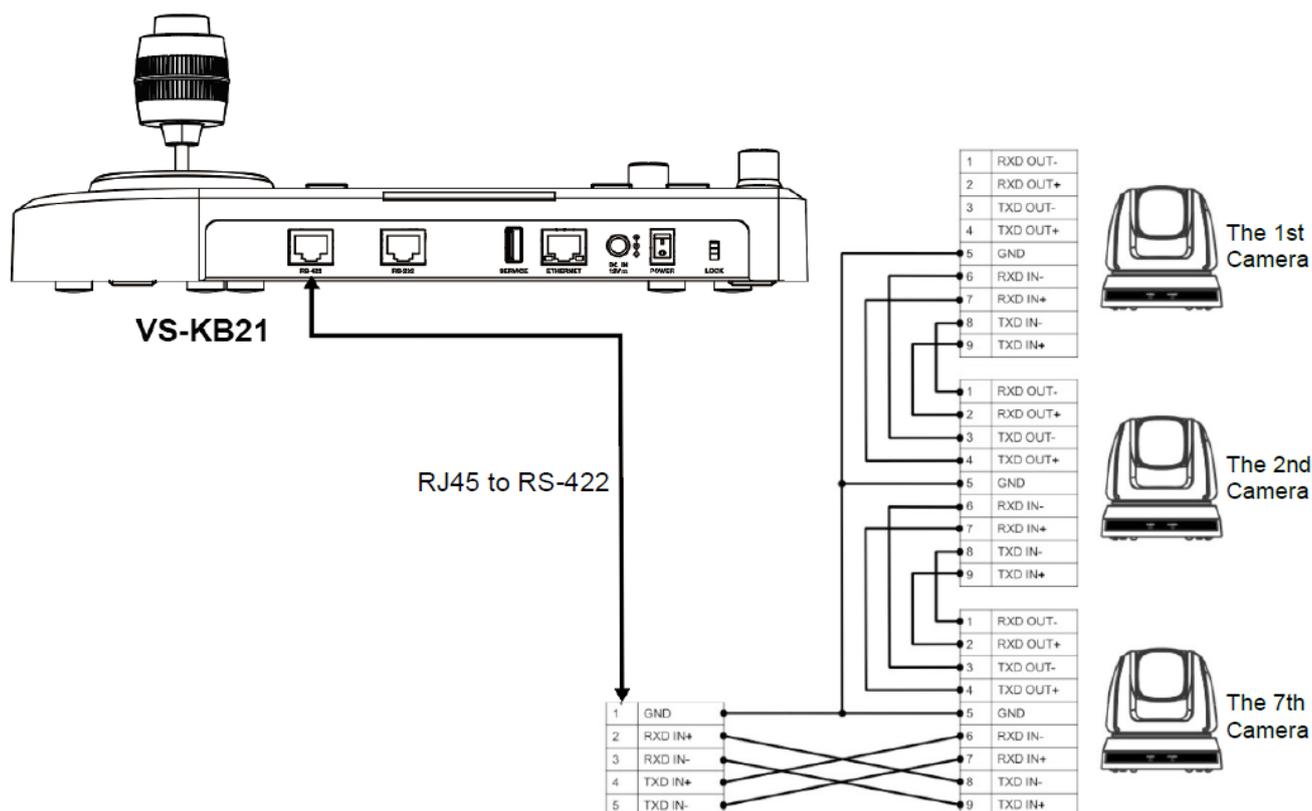
カメラを割り当てたいショートカットキー [CAM1]～[CAM7] のいずれかを選択します。

カメラの接続情報を設定します。

- ✓ Protocol (プロトコル) : VISCA
- ✓ Address (カメラアドレス) : カメラの設定に合わせます。
- ✓ Baudrate (ボーレート) : カメラの設定に合わせます。

設定後、[Back] ボタンを押してメニューを終了します。

4.3 RS-422 の接続方法



4.3.1 ケーブルの接続

コントローラーの RS-422 ポートと、カメラの RS-422 ポートを接続します。市販のケーブルを使用する場合は、[4.1 各ポートのピン配列](#)、および上記の図を参照して、正しくケーブルを接続してください。

4.3.2 カメラ側の設定

カメラ本体の OSD メニューまたは Web 設定画面で、以下の設定を行ってください。詳細はカメラのマニュアルを参照してください。

- ✓ Protocol (プロトコル) : VISCA
- ✓ Control Port (制御ポート) : RS-422

4.3.3 コントローラー側の設定

コントローラーの LCD メニューで、以下の設定を行ってください。

[SETTING] ボタンを押し、[Hot Key Camera] を選択します。

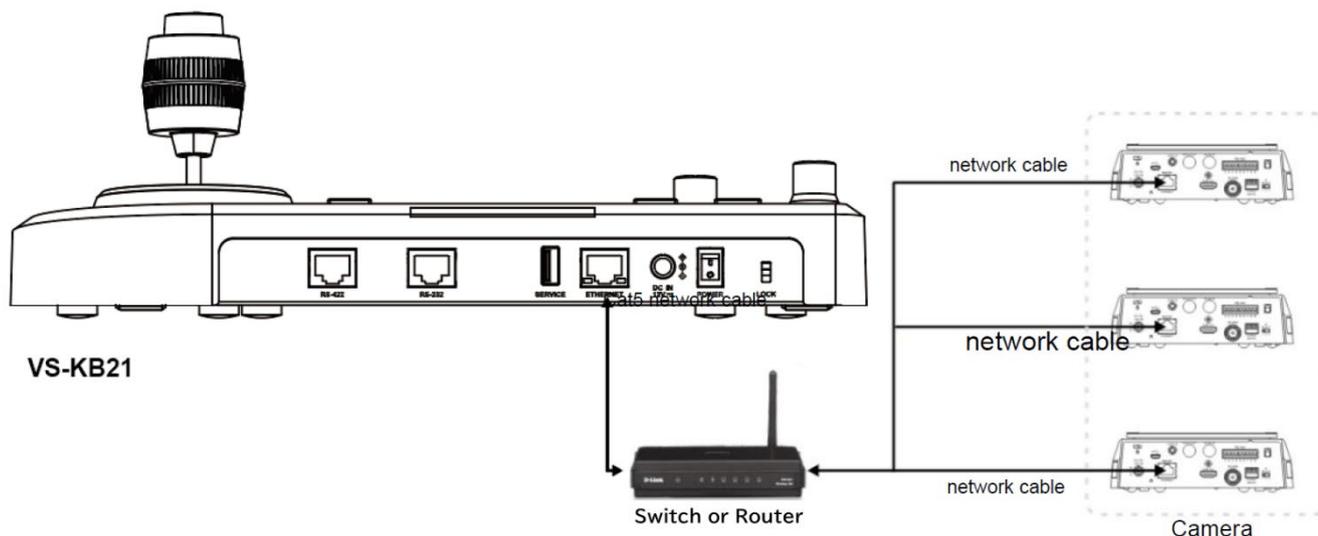
カメラを割り当てたいショートカットキー [CAM1]～[CAM7] のいずれかを選択します。

カメラの接続情報を設定します。

- ✓ Protocol (プロトコル) : VISCA
- ✓ Address (カメラアドレス) : カメラの設定に合わせます。
- ✓ Baudrate (ボーレート) : カメラの設定に合わせます。

設定後、[Back] ボタンを押してメニューを終了します。

4.4 IP 接続の方法



4.4.1 ケーブルの接続

LAN ケーブルを使用し、コントローラーと IP カメラを同じネットワーク上のスイッチまたはルーターに接続します。

4.4.2 コントローラーの IP アドレス設定

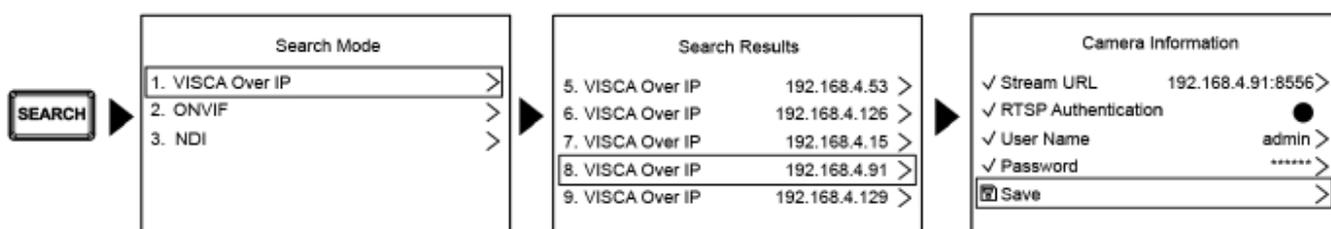
[SETTING] ボタンを押し、[Network] を選択します。

環境に合わせて、「DHCP (自動取得)」または「STATIC (固定)」を選択します。「STATIC」を選択した場合は、任意の IP アドレスなどを入力します。

4.4.3 カメラの追加

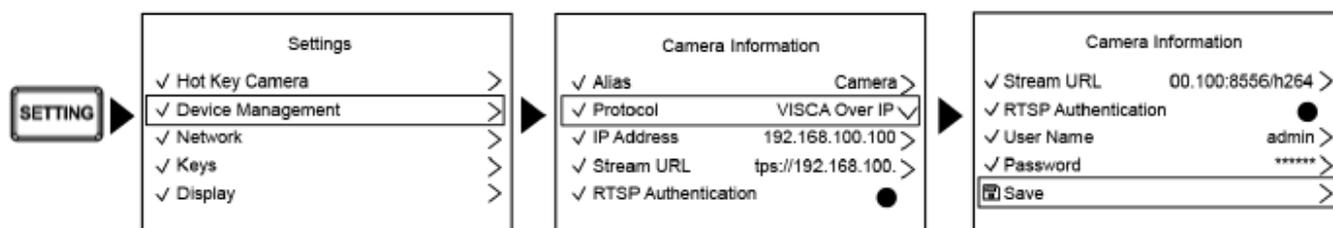
コントローラーに制御したいカメラを追加するには、自動検索または手動追加の 2 つの方法があります。

✓ 自動検索で追加



1. [SEARCH] ボタンを押し、任意の検索モード(Search Mode)を VISCA over IP / ONVIF / NDI(VS-KB21N のみ)から選択します。
2. ネットワーク上のカメラが検出されたら、リストから追加したいカメラを選択します。
3. カメラ情報 (Camera Information) のセクションで必要な設定を行います。
4. 最後に [Save] を選択すると、カメラが登録され、「CAM List」で確認できるようになります。

✓ 手動で追加



1. [SETTING] ボタンを押し、[Device Management]から[Add a New Device]を選択します。
2. カメラ情報 (Camera Information) のセクションでカメラの情報を入力します。詳細は [3.3 Hot Key Camera\(カメラショートカットキー\)の詳細設定](#)を参照してください。
3. 最後に [SAVE] を選択して登録を完了します。

Chapter.5 Web インターフェース

VS-KB21 コントローラーは、本体の LCD メニューで行う設定に加えて、PC の Web ブラウザからアクセスできる、Web インターフェースを備えています。

5.1 ネットワークへの接続

Web インターフェースにアクセスするには、コントローラーと PC が同じネットワークセグメントに属している必要があります。ネットワークへの接続は、以下のいずれかの方法で行ってください。

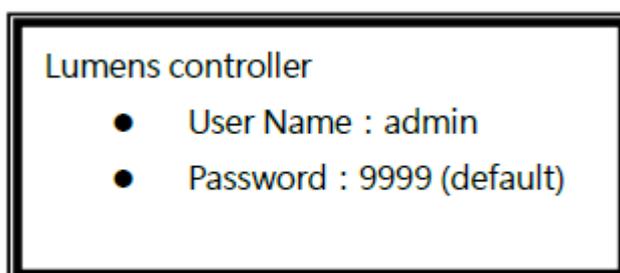
- ✓ DHCP 環境で接続する：DHCP サーバー機能を持つルーターやスイッチにコントローラーを接続し、IP アドレスを自動で取得させます。その後、割り当てられた IP アドレスを PC の Web ブラウザから入力してアクセスします。
- ✓ 手動で IP アドレスを設定する：コントローラー本体の LCD メニューから、あらかじめ任意の固定 IP アドレスを設定します。その後、PC も同じネットワークセグメントになるように IP アドレスを設定し、Web ブラウザからアクセスします。LCD メニューでの IP アドレスの指定方法は、[3.5 Network\(ネットワーク設定\)](#)を参照してください。

【重要】 本機はリンクローカルアドレス（169.254.x.x）には対応していません。DHCP サーバーが存在するネットワーク環境、または手動で IP アドレスを設定した環境でご使用ください。

5.2 Web インターフェースへのログイン

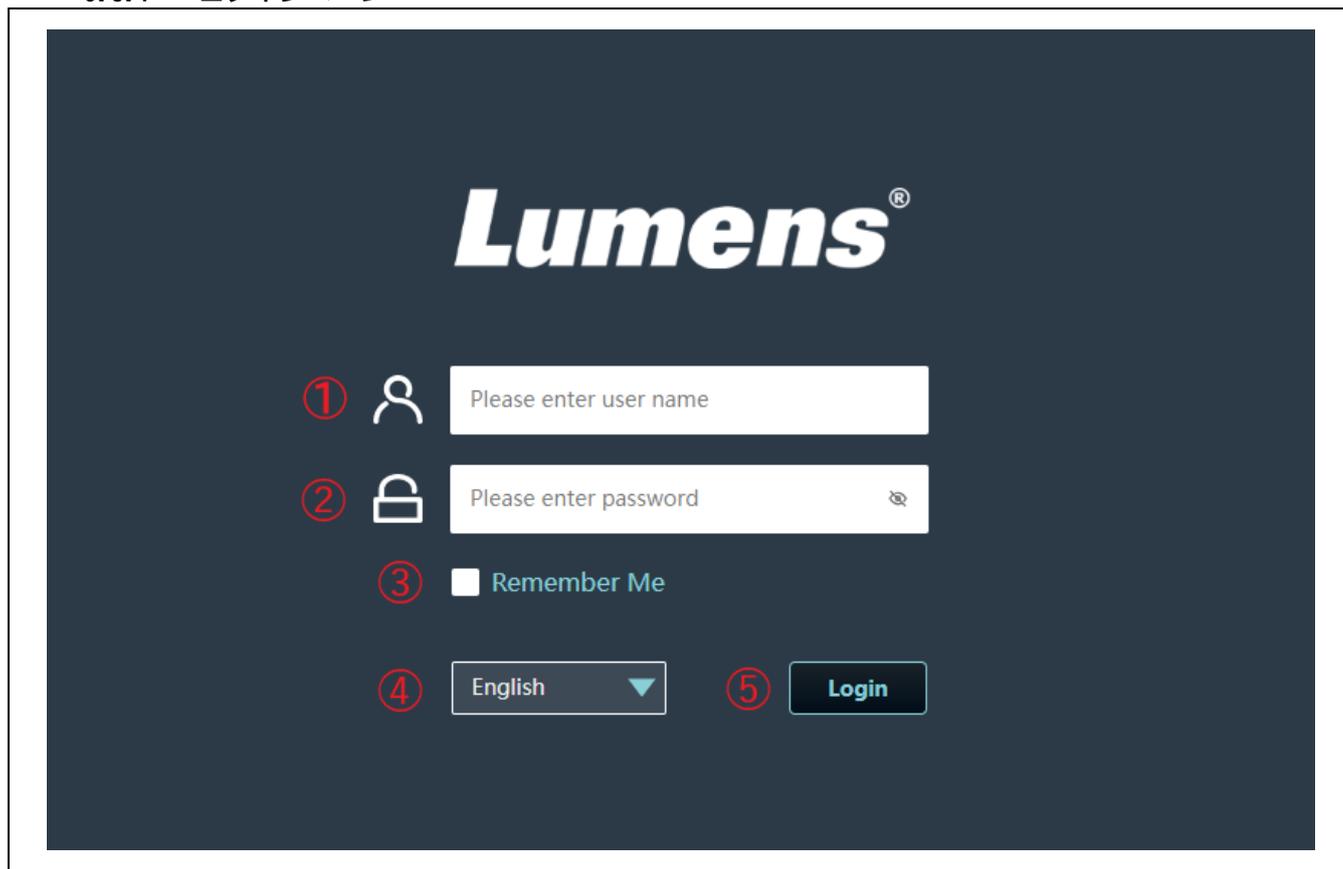
PC で Web ブラウザを開き、アドレスバーにコントローラーの IP アドレスを入力して Enter キーを押します。ログイン画面が表示されたら、管理者アカウントのユーザー名とパスワードを入力します。

初期ユーザー名とパスワードは以下の通りです。



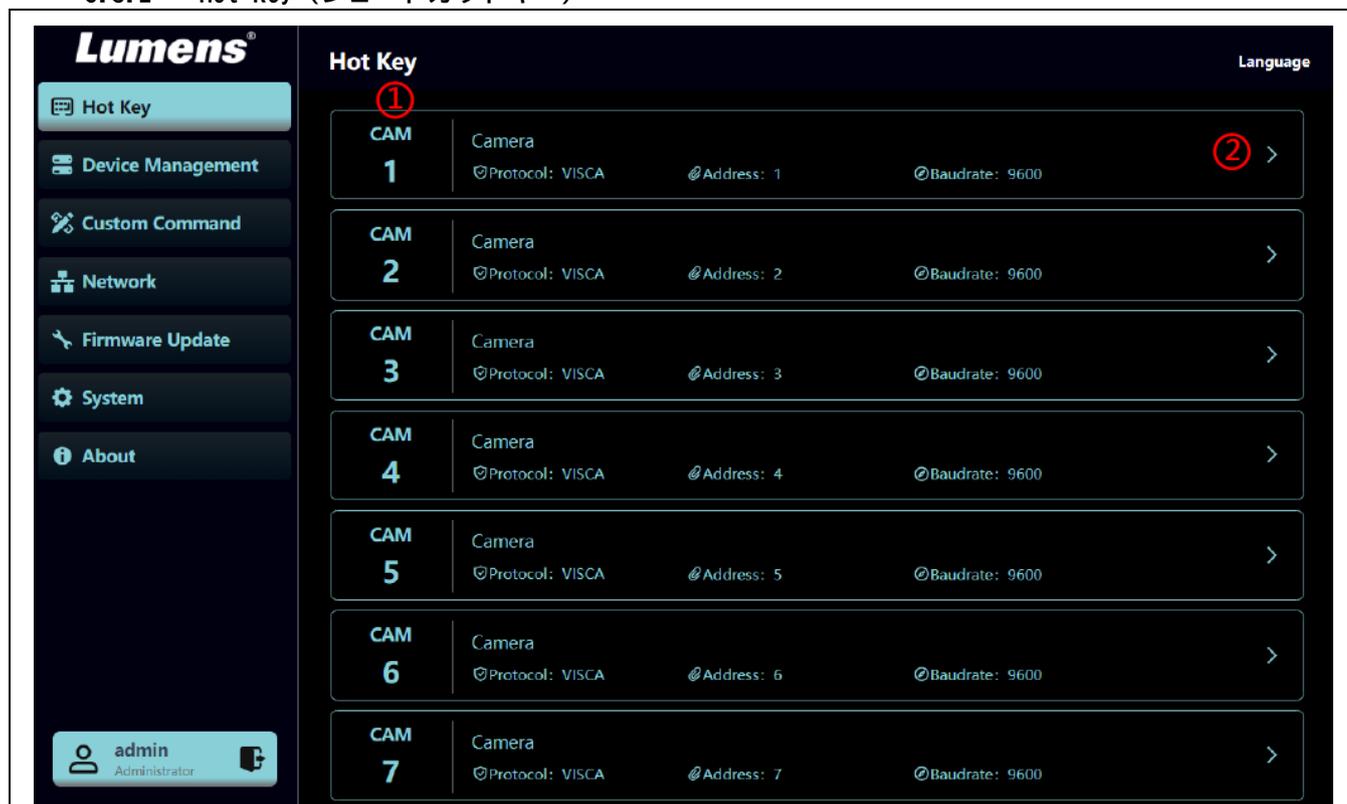
5.3 Web ページの機能概要

5.3.1 ログインページ



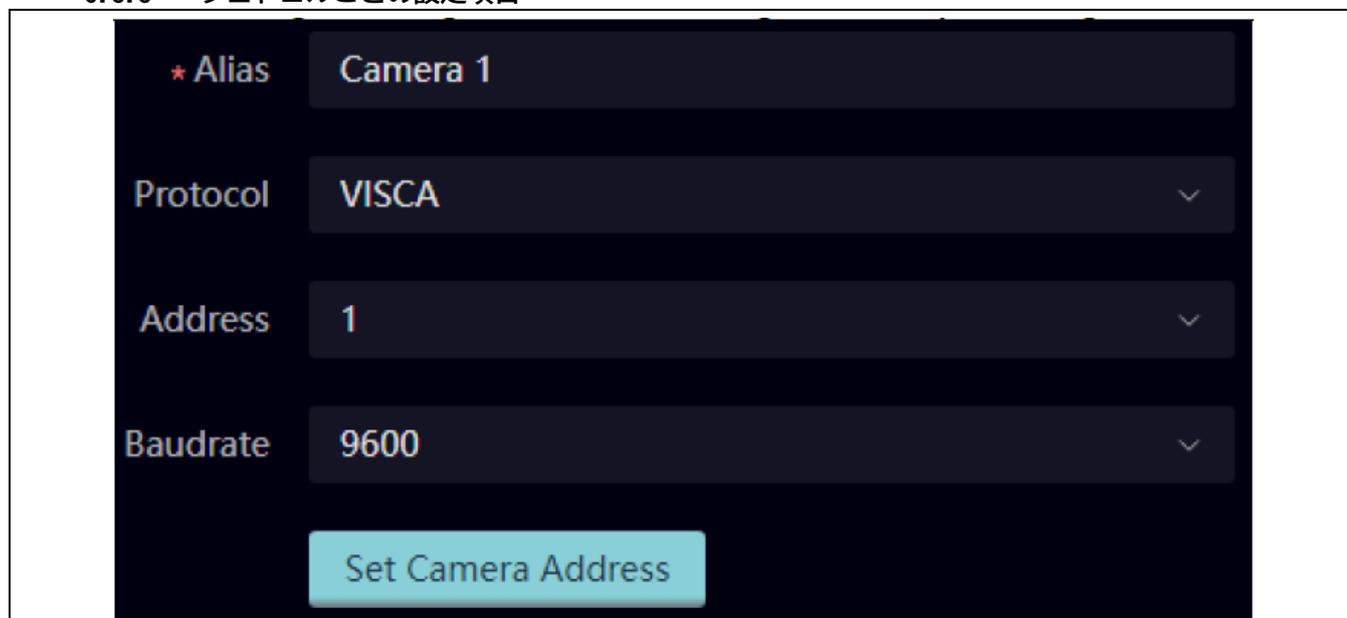
NO.	項目	機能概要
1	ユーザー名	ログインするためのユーザー名を入力します。(デフォルト: admin)
2	パスワード	ログインするためのパスワードを入力します。(デフォルト: 9999)
3	Remember Me	チェックを入れると、次回からユーザー名とパスワードの入力を省略できます。
4	Language	Web インターフェースの表示言語を選択します。(英語/繁体字中国語/簡体字中国語に対応)
5	Login	ユーザー名とパスワードを入力した後、このボタンを押して管理画面にログインします。

5.3.2 Hot Key (ショートカットキー)



NO.	項目	機能概要
1	CAM1~7	設定を行いたいカメラショートカットキー (CAM1~CAM7) のタブを選択します。
2	設定ページ	選択したショートカットキーに割り当てるカメラの接続情報などを設定します。設定内容は、選択するプロトコルによって異なります。

5.3.3 プロトコルごとの設定項目



プロトコル	項目	機能概要
VISCA	Alias	カメラの任意の名前 (エイリアス) を編集します。
	Address	カメラの VISCA ID (アドレス) を設定します。
	Baudrate	通信速度 (ボーレート) を設定します。
	Set Camera Address	カスケード接続されたカメラのアドレスを再設定します。この操作は、カメラにアドレス設定コマンドを送信します。

* Alias Camera 1

Protocol VISCA Over IP

* IP Address 192.168.100.100

Stream URL rtsp://192.168.100.100:8556/h264

RTSP Auth

User Name admin

Password

OIP Link

Manual Trigger

OIP Qty. 1

OIP Address

Source ID 1

プロトコル	項目	機能概要
VISCA over IP	Alias	カメラの任意の名前（エイリアス）を編集します。
	IP Address	カメラの VISCA ID（アドレス）を設定します。
	Stream URL	通信速度（ボーレート）を設定します。
	RTSP Auth	カスケード接続されたカメラのアドレスを再設定します。この操作は、カメラにアドレス設定コマンドを送信します。
	User Name	RTSP 認証用のユーザー名です。
	Password	RTSP 認証用のパスワードです。
	OIP Link	OIP デバイスとの連携機能（OIP Link）を有効/無効にします。
	Manual Trigger	OIP Link を手動で実行する機能を有効/無効にします。
	OIP Qty.	連携する OIP デバイスの数量（1～7）を選択します。
	OIP Address	連携する OIP デバイスの IP アドレスを入力します。
	Source ID	連携する OIP デバイスのソース ID を選択します。

* Alias Camera 1
 Protocol VISCA TCP
 * IP Address 192.168.100.100
 * Port 1259
 Stream URL rtsp://192.168.100.100:8556/h264
 RTSP Auth
 User Name admin
 Password

プロトコル	項目	機能概要
VISCA TCP	Alias	カメラの任意の名前（エイリアス）を編集します。
	IP Address	カメラの VISCA ID（アドレス）を設定します。
	Port	通信ポート番号を設定します。（設定範囲：1～65534）
	Stream URL	カメラの RTSP ストリーム URL を表示します。
	RTSP Auth	RTSP ストリームの認証を有効/無効にします。
	User Name	RTSP 認証用のユーザー名を入力します。
	Password	RTSP 認証用のパスワードを入力します。

* Alias Camera 1

Protocol ONVIF

* IP Address 192.168.100.100

Account

User Name Please enter Onvif User name

Password Please enter Onvif Password

RTSP Auth

User Name admin

Password

OIP Link

Manual Trigger

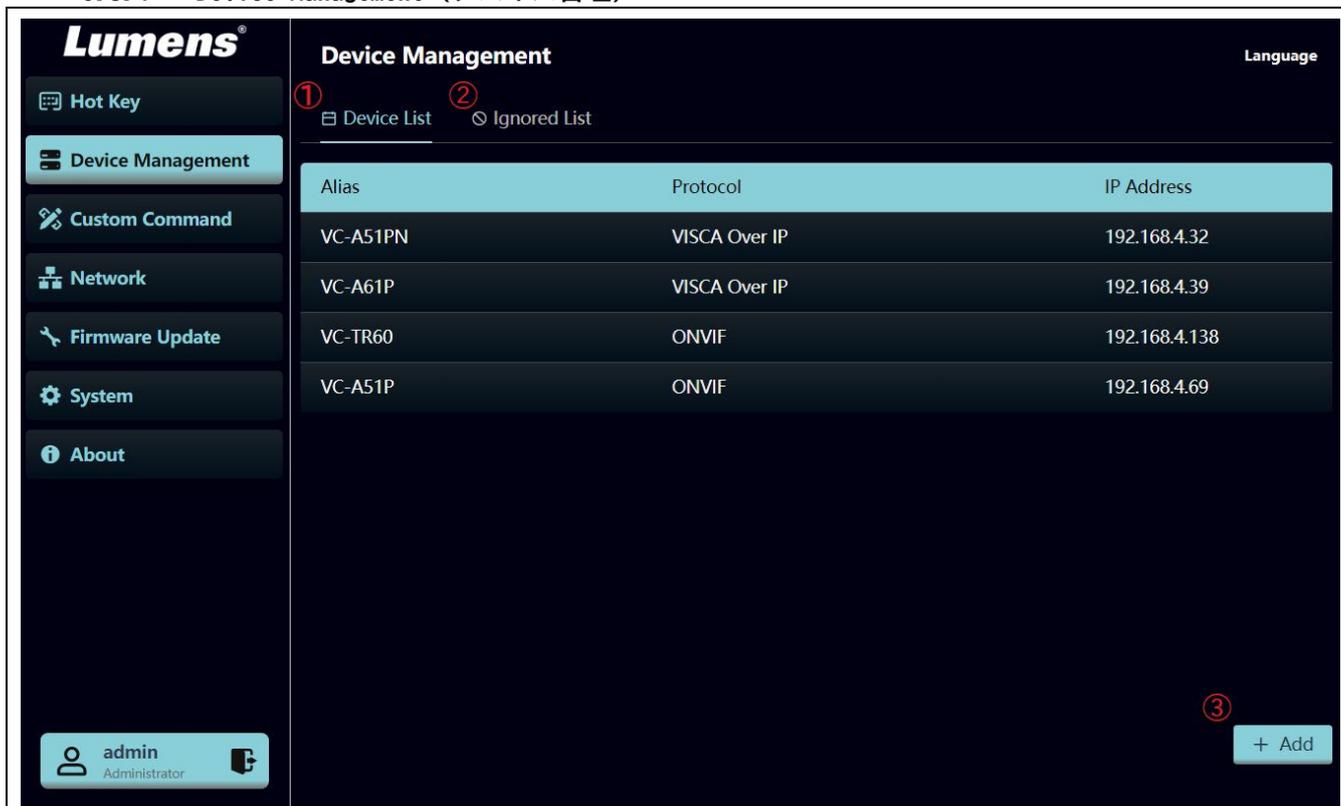
OIP Qty. 1

OIP Address

Source ID 1

プロトコル	項目	機能概要
ONVIF	Alias	カメラの任意の名前（エイリアス）を編集します。
	IP Address	カメラの VISCA ID（アドレス）を設定します。
	Account	ONVIF のアカウント認証を有効/無効にします。有効にするとプレビュー（PVW）機能が利用できます。
	User Name	ONVIF 認証用のユーザー名を入力します。
	Password	ONVIF 認証用のパスワードを入力します。
	RTSP Auth	RTSP ストリームの認証を有効/無効にします。
	User Name	RTSP 認証用のユーザー名を入力します。
	Password	RTSP 認証用のパスワードを入力します。
	OIP Link	OIP デバイスとの連携機能（OIP Link）を有効/無効にします。
	Manual Trigger	OIP Link を手動で実行する機能を有効/無効にします。
	OIP Qty.	連携する OIP デバイスの数量（1～7）を選択します。
	OIP Address	連携する OIP デバイスの IP アドレスを入力します。
	Source ID	連携する OIP デバイスのソース ID を選択します。

5.3.4 Device Management (デバイス管理)



NO.	項目	機能概要
1	Device List	現在コントローラーに登録されているデバイスの一覧を表示します。リスト内のデバイスをクリックすると、設定を編集できます。
2	Ignored List	検索時に表示しないように設定された「無視リスト」にあるデバイスの一覧を表示します。リスト内のデバイスをクリックすると、設定を編集できます。
3	+ Add	<ul style="list-style-type: none"> ✓ Device List: プロトコルに応じて関連情報を入力し、新しいカメラをデバイスリストに手動で追加します。 ✓ Ignored List: IP アドレスとプロトコルを入力し、カメラを無視リストに追加します。 ※NDI プロトコルのカメラは、この機能での追加に対応していません。

5.3.5 Custom Command (カスタムコマンド)



機能概要

3つまで任意のカスタムコマンドを登録することができます。コマンド名をクリックすると編集ページが開き、コマンドの内容をカスタマイズできます。登録したコマンドは、LCDメニューの「KEYS」設定でF1/F2キーに割り当てて使用します。

5.3.6 Network (ネットワーク設定)

Lumens Network Language

Hot Key
Device Management
Custom Command
Network
Firmware Update
System
About

admin Administrator

DHCP

IP Address 192.168.4.67

Netmask 255.255.255.0

Gateway 192.168.4.254

DNS1 192.168.1.211

DNS2 192.168.1.212

Apply

機能概要

コントローラー本体のネットワーク設定を行います。DHCP 機能を無効にすると、IP アドレスなどの各ネットワーク設定を編集できます。

5.3.7 Firmware Update (ファームウェアアップデート)

Lumens Firmware Update Language

Hot Key
Device Management
Custom Command
Network
Firmware Update
System
About

Version
VYI101

Upgrade

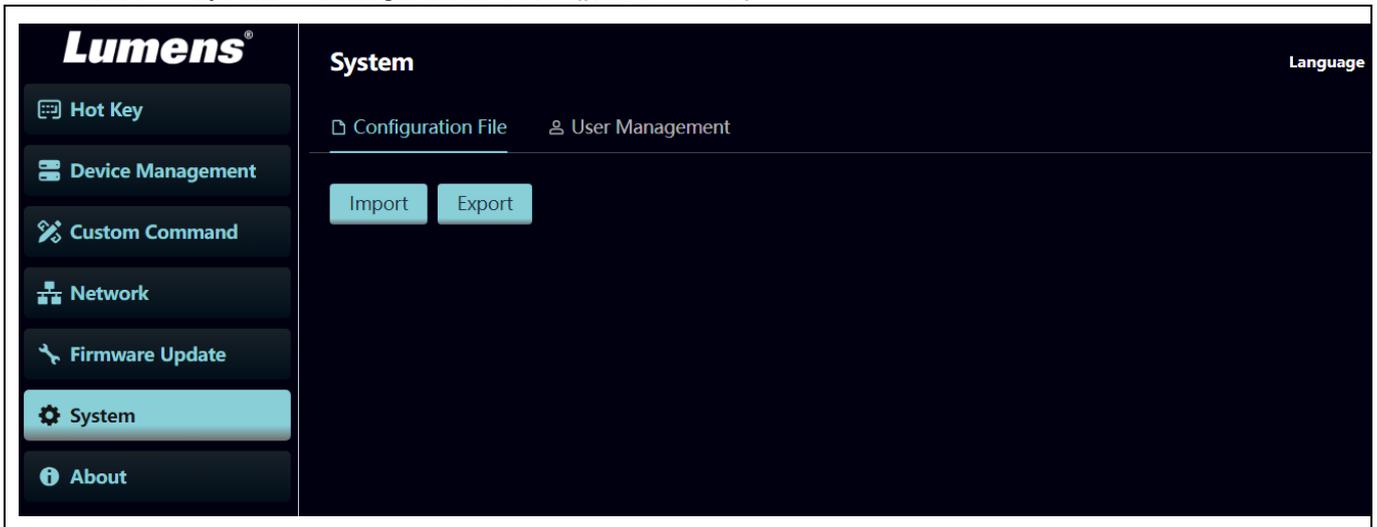
Drag the file here or [Click to upload](#)

機能概要

現在のファームウェアバージョンを表示します。ユーザーはここからファイル（拡張子 .up）をアップロードし、ファームウェアを更新することができます。

- ✓ アップデートには約3分かかります。
- ✓ アップデート中は、故障を避けるため、絶対に電源を切ったり操作したりしないでください。

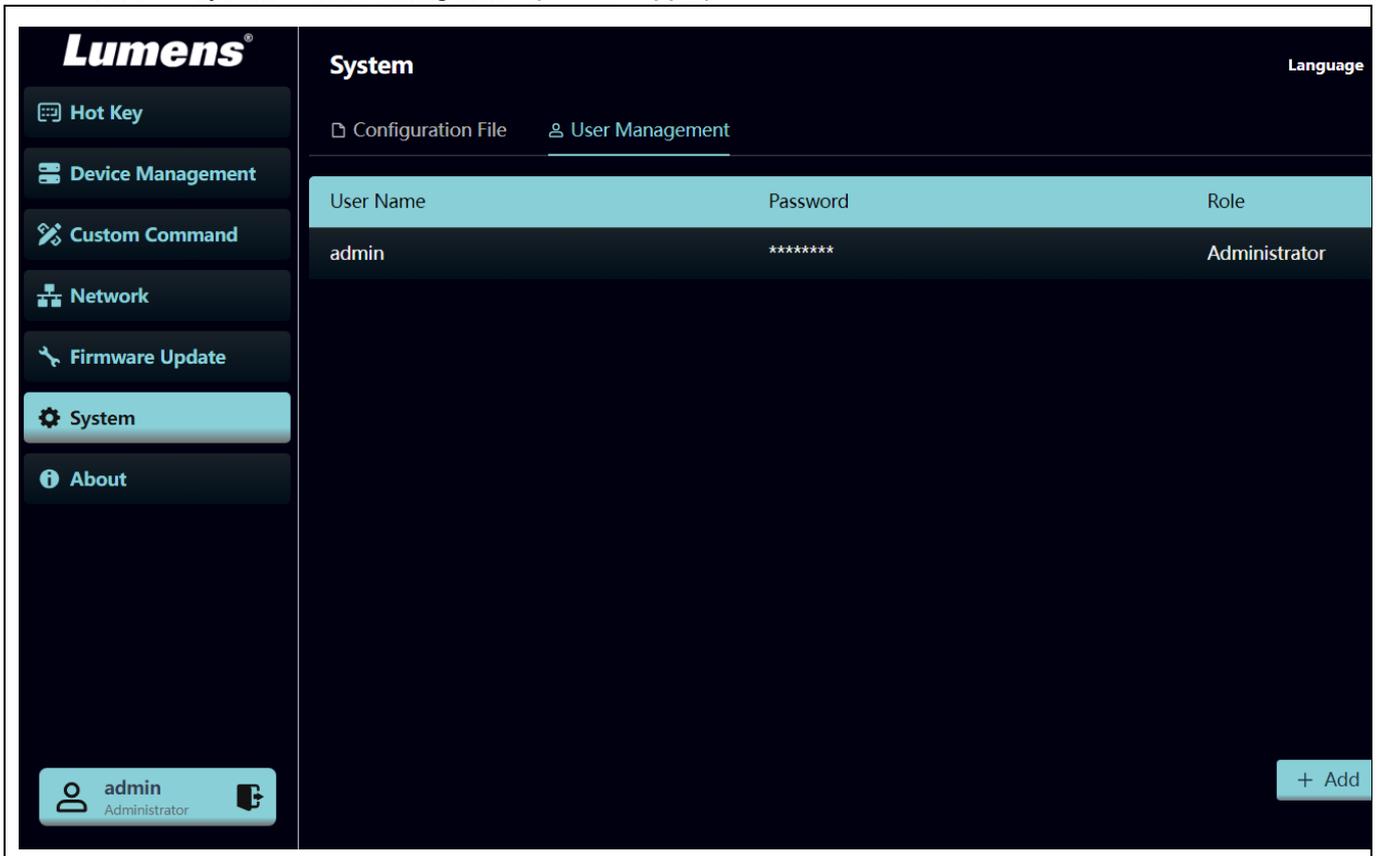
5.3.8 System - Configuration File (設定ファイル)



機能概要

コントローラーの現在の全設定を、単一のファイルとして PC にエクスポート（保存）したり、PC からインポート（読込）したりすることができます。

5.3.9 System - User Management (ユーザー管理)



機能概要

コントローラーにログインするためのユーザーアカウントの追加、編集、削除を行います。

- ✓ デフォルトの管理者 (admin) アカウントは削除できません。
- ✓ 最大 8 つのユーザーアカウント（管理者 1 名＋一般ユーザー 7 名）を登録できます。
- ✓ ユーザー名とパスワードは、4～32 文字の半角英数字で設定してください。（日本語や特殊記号は使用できません）

ユーザー権限

権限の種類	✓	✓
言語設定	✓	✗
ユーザー管理	✓	✗

5.3.10 About (製品情報)

Lumens[®]

Hot Key

Device Management

Custom Command

Network

Firmware Update

System

About

admin
Administrator

About

Lumens[®]

Get Help ?

Model Name	VS-KB21
Firmware Version	VY1101
MAC Address	DC:E2:AC:03:80:29
Serial Number	VDNA00028
Start Up time	28 h 48 min

www.MyLumens.com

Copyright © Lumens Digital Optics Inc. All rights reserved.

機能概要

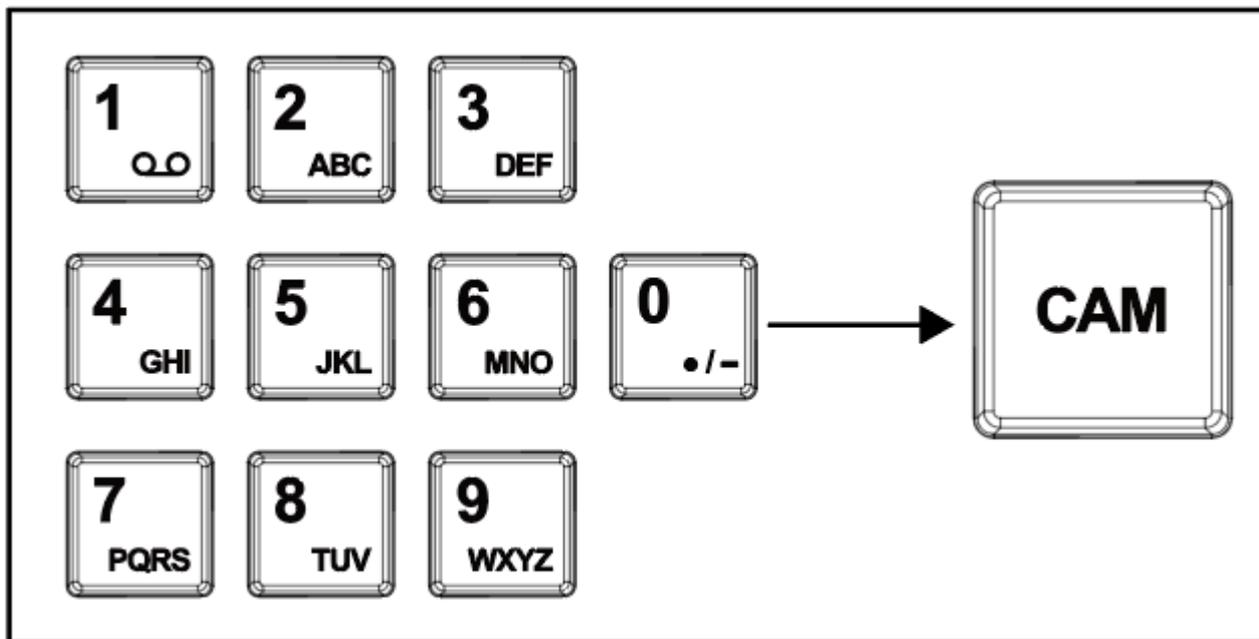
コントローラーのファームウェアバージョン、シリアル番号、および関連情報を表示します。

Chapter.6 基本的操作

6.1 カメラの呼び出し

6.1.1 数字キーボードを使用してのカメラの呼び出し方法

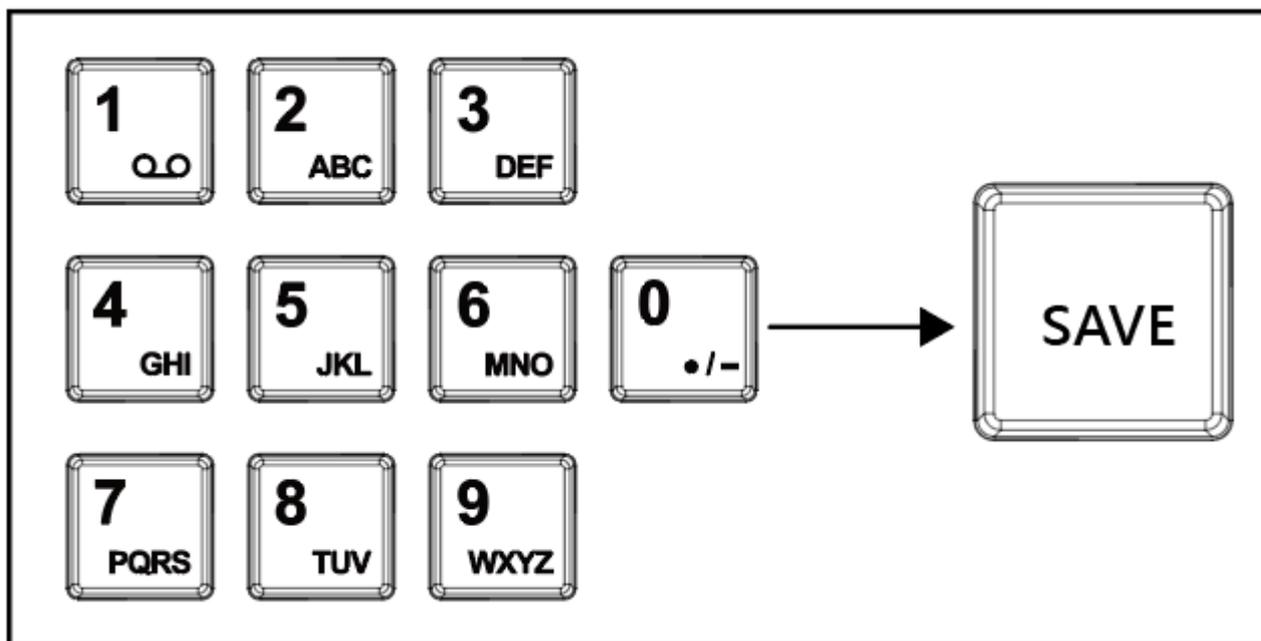
1. 数字キーボードで、呼び出したいカメラの番号（カメラ ID）を入力します。
2. [CAM] ボタンを押します。



6.2 プリセットポジションの設定/呼び出し/解除

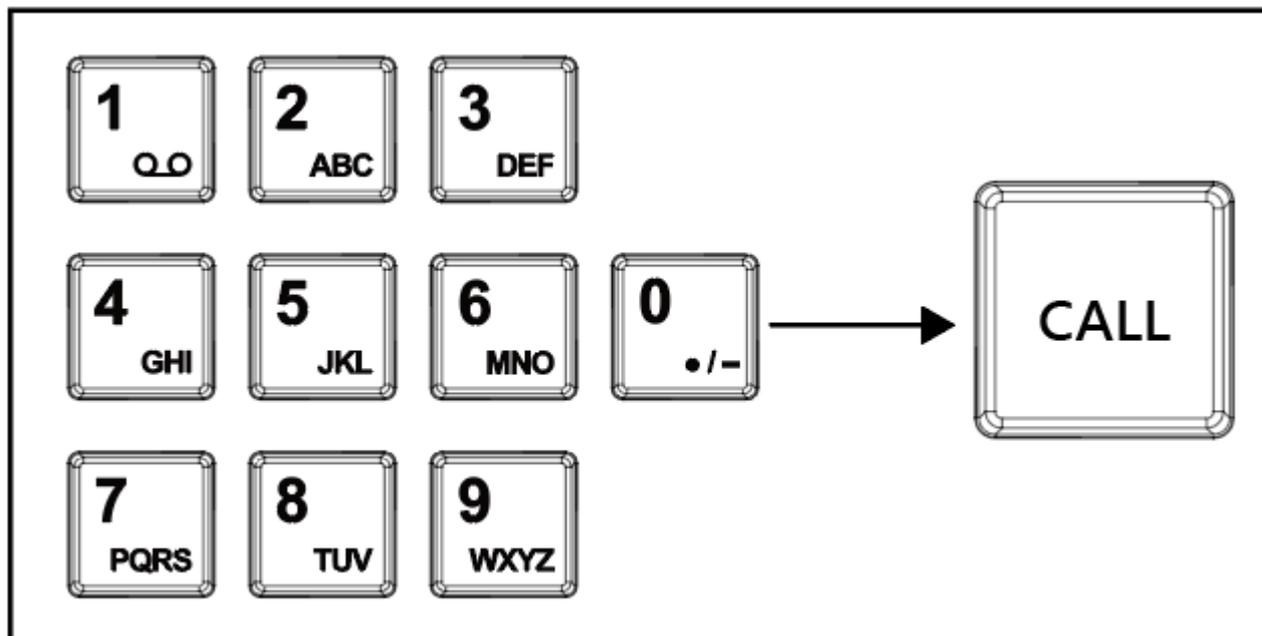
6.2.1 プリセットポジションの保存方法

1. ジョイスティックを操作し、カメラを登録したい位置に動かします。
2. 登録したいプリセット番号を数字キーで入力し、[SAVE] ボタンを押して保存します。



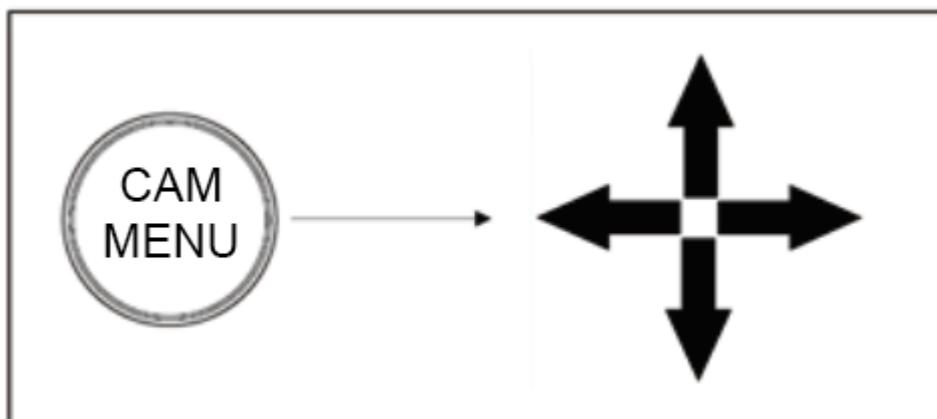
6.2.2 プリセットポジションの呼び出し方法

1. 呼び出したいプリセット番号を数字キーで入力します。
2. [CALL] ボタンを押します。



6.3 コントローラーからカメラの OSD メニューを設定する

1. コントローラーの[CAM MENU]ボタンを押すと、カメラに接続された HDMI または SDI モニターに、カメラの OSD メニューが表示されます。
2. OSD メニューの操作は、PTZ ジョイスティックで行います。
 - ✓ [CAM MENU] ボタン: メニューの呼び出し、キャンセル / 前のページに戻る
 - ✓ ジョイスティックを押し込む: 選択した項目を決定する
 - ✓ ジョイスティックを上下に倒す: メニュー項目を上下に移動する
 - ✓ ジョイスティックを左右に倒す: 選択した項目の値を調整する



Chapter.7 応用機能：OIP デコーダーとの連携

VS-KB21 コントローラーは、Lumens OIP-N60D デコーダーと連携し、コントローラーからデコーダーが表示する映像ソースを直接切り替える「ストリームセレクト」機能に対応しています。

7.1 機能概要

この機能を使用すると、VS-KB21 のカメラショートカットキー（[CAM1]～[CAM7]）が、OIP-N60D デコーダーの「チャンネル切り替えボタン」として動作するようになります。例えば、[CAM1]にソース No.1 を、[CAM2]にソース No.2 を割り当てておけば、各カメラショートカットキーでモニターに映し出す映像を切り替えることが可能になります。

7.2 接続と設定

7.2.1 機器の接続

VS-KB21 コントローラー、OIP エンコーダー、および OIP-N60D デコーダーを、すべて同じネットワークに接続します。

7.2.2 OIP-N60D デコーダーの設定

OIP-N60D
Default

Source List: Search New Source Search Mode: NDI & ONVIF

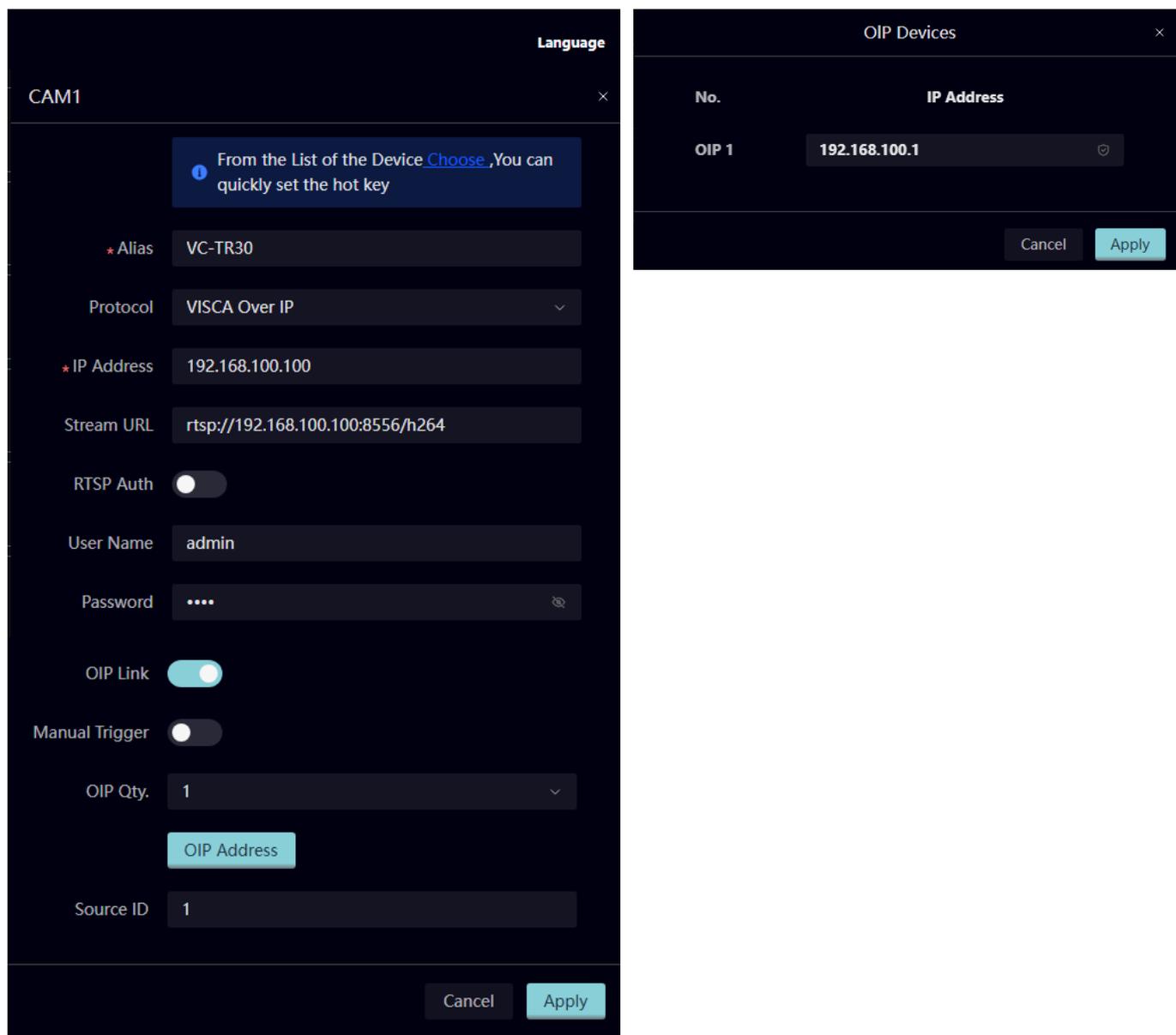
No.	Name	Location	IP Add.	Type	Status	Remark
1	VC-TR30	Default	192.168.100.100	RTSP	OK	8557/h264
2	VC-TR40	Default	192.168.100.101	RTSP	OK	8557/h264

▲ ▼ Edit Delete Source 1

1. OIP-N60D の Web 設定画面にアクセスします。
2. Source 設定で使用するカメラまたは OIP エンコーダーを登録します。この例ではソース No.1 に VC-TR30 を、ソース No.2 に VC-TR40 を登録しています。

詳しい設定方法については別途 [OIP-N60D マニュアル](#) を参照してください。

7.2.3 VS-KB21 コントローラーの設定



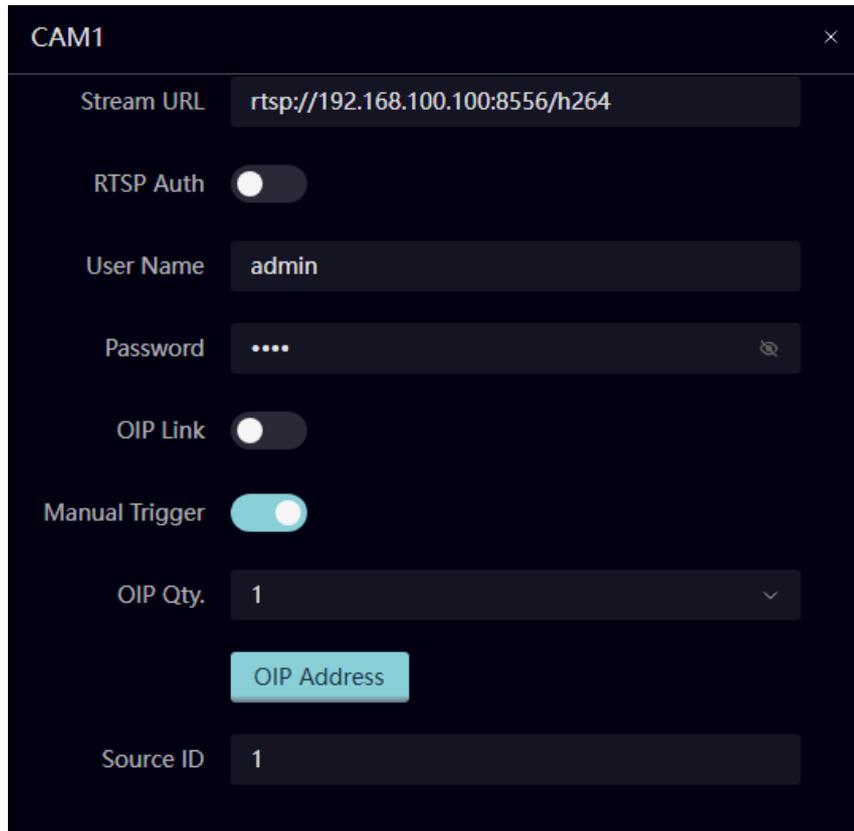
1. VS-KB21 の LCD 画面、または Web 設定画面にアクセスします。
2. Hot Key 設定を開き、登録したいショートカットキー（例：CAM1）を選択します。
3. [3.2 Hot Key Camera](#)、または [5.3.2 Hot Key](#) に基づき、カメラまたは OIP エンコーダーの設定を入力し、OIP Link を Enable に設定します。
4. OIP Qty の欄でデコーダーの総数を設定します（最大 7 台）。この設定は、複数のデコーダーに同じ映像を出力したい場合に使用します。
5. OIP Address をクリックし、映像の出力先となるデコーダーの IP アドレスを入力します。
6. Source ID を入力します。この ID は、OIP-N60D の Web 設定画面で各ソースに割り当てられている番号（ソース No）と一致している必要があります。この例では、ソース No. 1 の VC-TR30 を登録します。
7. 最後に [Apply] をクリックして設定を保存します。

同様に[CAM2]のショートカットキーに、別のソース(この例ではソース No. 2 の VC-TR40)を設定すると、カメラショートカットキー[CAM1][CAM2]を押して、デコーダーからの映像出力を切り替えることが可能になります。

7.2.4 OIP Manual Trigger

カメラを選択した際の自動的な映像切り替えを無効にし、任意のタイミングで手動切り替えを行いたい場合は、マニュアルトリガーモードを有効にします。

設定手順



The screenshot shows a configuration window titled 'CAM1' with a close button in the top right corner. The settings are as follows:

- Stream URL: rtsp://192.168.100.100:8556/h264
- RTSP Auth: Disabled (toggle switch)
- User Name: admin
- Password: masked with dots and a visibility icon
- OIP Link: Disabled (toggle switch)
- Manual Trigger: Enabled (toggle switch)
- OIP Qty.: 1 (dropdown menu)
- OIP Address: button
- Source ID: 1

1. Hot Key 設定画面で、「Manual Trigger」を有効 (Enable) にします。
2. 「OIP Link Mode」を無効 (Disable) にします。
3. コントローラー本体の [SETTING] メニューから [KEYS] を選択し、[F1] または [F2] キーに「OIP Trigger」機能を割り当てます。本設定は Web インターフェースからは設定できません。

上記の設定が完了すると、コントローラーのショートカットキーを選択しただけでは、デコーダー出力映像は自動で切り替わらなくなります。

映像を切り替えるには、[F1]または[F2]を押してください。F キーを押したタイミングで、モニターの映像が切り替わります。

Chapter.8 トラブルシューティング

本章では、VS-KB21/VS-KB21N の使用中に発生する可能性のある問題と、その解決策について説明します。

NO.	問題	解決策
1	電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">✓ 背面パネルの電源ボタンが正しく押されているか確認してください。✓ PoE で給電している場合は、LAN ケーブルが PoE スイッチの給電対応ポートに正しく接続されているか確認してください。
2	RS-232/RS-422 でカメラを制御できない	<ul style="list-style-type: none">✓ ポートのピン配列を確認し、ケーブルが正しく接続されているか確認してください。✓ カメラ側の設定画面で、制御ポートが RS-232/RS-422 に設定されているか、またコントローラーとボーレート (Baud rate) の設定が一致しているか確認してください。✓ コントローラーの [CAM MENU] ボタンが誤って押され、カメラの OSD メニューが表示されたままになっていないか確認してください。メニュー表示中は、カメラを直接制御することはできません。
3	ボタンを押しても、画質設定やフォーカスが変更できない	<ul style="list-style-type: none">✓ [LOCK] ボタンがロックモードになっていないか確認してください。ロックされている場合は、[LOCK] ボタンを 3 秒間長押しして解除してください。

Chapter.9 安全上のご注意

安全にお使いいただくために

本製品を安全にセットアップし、ご使用いただくために、以下の指示に必ず従ってください。

- ✓ 推奨されている付属品のみを使用してください。
- ✓ 製品に表示されている種類の電源を使用してください。利用可能な電源の種類が不明な場合は、販売代理店または地域の電力会社にご相談ください。
- ✓ 電源プラグを取り扱う際は、火花や火災を防ぐため、以下の注意事項を必ずお守りください。
- ✓ コンセントに差し込む前に、プラグに付着したホコリを取り除いてください。
- ✓ プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。
- ✓ 壁のコンセント、延長コード、テーブルタップなどを過負荷の状態で使用しないでください。火災や感電の原因となる可能性があります。
- ✓ 電源コードが踏まれる可能性のある場所に製品を設置しないでください。コードやプラグのほつれ、損傷の原因となります。
- ✓ いかなる種類の液体も、本製品の内部に入らないようにしてください。
- ✓ このユーザーマニュアルで特に指示されている場合を除き、ご自身で本製品の操作を試みないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされる可能性があります。すべての修理・点検は、資格を持つサービス担当者にご依頼ください。
- ✓ 雷雨の際や、長期間使用しない場合は、本製品の電源プラグを抜いてください。また、本製品やリモコンを、車内など振動する機器や高温になる物の上に置かないでください。
- ✓ 以下の状況が発生した場合は、本製品をコンセントから抜き、資格を持つサービス担当者に修理・点検を依頼してください。
- ✓ 電源コードやプラグが損傷またはほつれた場合。
- ✓ 製品内に液体がこぼれたり、製品が雨や水にさらされたりした場合。

注意事項

警告：火災や感電のリスクを軽減するため、本製品を雨や湿気にさらさないでください。

長期間使用しない場合は、電源ソケットからプラグを抜いてください。

注意：感電のリスクを軽減するため、カバー（または背面）を取り外さないでください。内部にユーザーが修理できる部品はありません。修理・点検は資格を持つサービス担当者にご依頼ください。

Chapter.10 Copyright Information

Copyrights © Lumens Digital Optics Inc. All rights reserved.
Lumens は、Lumens Digital Optics Inc. が現在登録中の商標です。

本ファイルのコピー、複製、送信は、本製品購入後のバックアップを目的とする場合を除き、ルーメンズ・デジタル・オプティクス・インコーポレーテッドからライセンスを受けていない場合、禁止されています。

本ファイルは、製品改良のため予告なく変更することがあります。

本書は、本製品の使用方法を十分に説明するために、他の製品名や会社名を引用することがありますが、著作権を侵害するものではありません。

保証の免責事項 Lumens Digital Optics Inc. は、技術的、編集上の誤りや脱落の可能性、および本ファイルの提供、本製品の使用または操作に起因する偶発的または関連する損害について責任を負いません。

AUDIO  **BRAINS**

〒216-0033 神奈川県川崎市宮前区宮崎 649-3

TEL : 044-888-6761

<https://audiobrains.com/>

2025/08